



第137号

(昭和46年4月・5月号)

目次

関係法令	1
学内規則	1
富山大学経済学部規程の一部改正	1
富山大学学則の一部改正	3
富山大学文理学部規則の一部改正	3
富山大学教育学部規則の一部改正	4
富山大学工学部規則の一部改正	9
富山大学教育学部附属学校規則の一部改正	10
諸会議	10
人事異動	11
学内諸報	14
名誉教授の称号授与について	14
職員の派遣について	15
学位取得者	15
叙位叙勲	15
北陸地区大学奨学生事務協議会	15
訃報	16
職員消息	16
主要日誌	17

関係法令

法律

文部省設置法の一部を改正する法律(71)	5・27
国立及び公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法(77)	5・28
恩給法の一部を改正する法律(81)	5・29
昭和42年度以後における国家公務員共済組合からの年金の額の改定に関する法律等の一部を改	

(官報掲載月日)

正する法律(82)	5・29
-----------	------

政令

国有財産法施行令の一部を改正する政令(110)	4・1
日本学校給食会法施行令の一部を改正する政令(119)	4・5
日本育英会法施行令の一部を改正する政令(134)	4・23

省令

国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令(文部19)	4・1
---	-----

訓令

人事に関する権限の委任等に関する規程の一部を改正する訓令(文部21)	4・7
人事に関する権限の委任等に関する規程の一部を改正する訓令(同23)	5・6
文部省定員細則の一部を改正する訓令(同24)	5・31

規則

非常勤職員の給与の一部を改正する規則(人事院9-1)	4・1
俸給の調整額の一部を改正する規則(同9-6)	4・1
採用試験の一部を改正する規則(同8-18)	5・14
俸給の特別調整額の一部を改正する規則(同9-17)	5・14

学内規則

富山大学経済学部規程の一部改正

富山大学経済学部規程の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和46年4月16日

富山大学長 後藤 秀弘

富山大学経済学部規程の一部を改正する規則

富山大学経済学部規程(昭和29年4月6日制定)の一部を次のように改正する。

題名を次のように改める。

富山大学経済学部規則

第1条を次のように改める。

(経済学科)

第1条 学生は、専門教育科目として別表(1)の定めるところにより、必修科目14単位、選択必修科目28単位、選択科目42単位以上、合計84単位以上を修得しなければならない。

第2条中「履修取得」を「修得」に改める。

第3条を次のように改める。

(経済学専攻科)

第3条 専攻科の学生は、別表(2)の定めるところにより、必修科目18単位、選択科目12単位以上、合計30単位以上を修得しなければならない。

別表(1)および(2)を次のように改める。

(次のようは別紙による。)

別表(1)

経済学科授業科目および単位数

系 列	学 科 目	授 業 科 目	単 位 数			系 列	学 科 目	授 業 科 目	単 位 数				
			必修	選必	選択				必修	選必	選択		
経 済 学 系	経 済 学	経 済 原 論 (I)		4		経 済 学	商 学	取 引 所 論			2		
		経 済 原 論 (II)		4				商 品 学		4			
		経 済 学 史		4				商 業 数 学		4			
		国 際 経 済 論		4				商 貿 易 実 務			4		
	経 済 史	経 済 史 総 論		4		営 業 学	簿 記 学	簿 記 概 論		4			
		西 洋 経 済 史		4				簿 銀 行 簿 記		4			
		日 本 経 済 史		4				工 業 簿 記			2		
		経 済 政 策 総 論		4				簿 記 組 織 論		4			
	経 済 政 策	商 業 政 策		4		会 計 学	会 計 学	簿 記 原 理			2		
		工 業 政 策		4				会 計 理 論		4			
		農 業 政 策		4				原 価 計 算 論		4			
		社 会 政 策		4				管 理 会 計 論		4			
財 政 金 融 論	財 政 学 総 論		4		法 学 ・ 社 会 学 系	憲 法	憲 行 政 法 学 法		4				
	財 政 学 論		4	4			政 治 法 学 法		4				
	貨 幣 及 び 金 融 論		4				税 法			2			
	景 気 論		4										
統 計 学	統 計 学		4		民 法	民 法	民 法 I (総則・物権)		4				
	統 計 学		4				民 法 II (債権法)		4				
経 済 地 理 学	経 済 地 理 学		4		商 法	商 法	民 法 III (親族・相続)			2			
	日 本 産 業 論		4				商 法 I (総則・会社)		4				
経 営 学 系	経 営 学	海 外 経 済 事 情			4	法 学	法 学	商 法 II (商行為・手形・小切手)		4			
		経 営 学 総 論		4				商 法 III (海商・保険)			2		
		経 営 政 策 論		4				経 済 法		4			
		経 営 管 理 論		4				労 働 法		4			
	経 営 学	経 営 財 務 論		4		社 会 学	社 会 学	社 会 学 原 理		4			
		経 営 労 務 論		4				社 会 心 理 学		4			
		経 営 史		4									
		公 益 企 業 論		4				演 習	4				
	公 益 企 業 論	公 益 企 業 論		4		各 学 科 目 共 通	各 学 科 目 共 通	卒 業 論 文	6				
		公 益 企 業 論		4				外 国 書 講 読	4				
		公 益 企 業 論		4	2								
		公 益 企 業 論		4									
学 系	商 学	商 学 通 論		4		備 考	備 考	1. 経済学系(学科目…経済学、経済史、経済政策、財政金融論、統計学、経済地理学)の授業科目の中から、3科目12単位を選択必修科目とする。					
		商 市 場 論		4				2. 各学科目に選択科目として特殊講義をおくことができる。					
		銀 行 及 び 信 託 論		4									
		交 通 論		4									
	保 險 論	保 險 論		4									
		外 国 為 替 論		4									
	学 系	学 系											

別表(2)

経済学専攻科授業科目および単位数

専攻名	授 業 科 目	単位数	
		必修	選択
経 理 経 営 専 攻	経 済 政 策 特 殊 問 題		4
	財 政 学 特 殊 問 題		4
	貨 幣 及 び 金 融 論 特 殊 問 題		4
	景 気 論		4
	統 計 学 特 殊 問 題		4
	各 国 経 済 事 情		4
	株 式 会 社 経 営 論		4
	公 企 業 経 営 論		4
	経 営 組 織 論	4	
	経 営 学 特 殊 問 題		4
	労 務 管 理 特 殊 問 題		4
	財 務 管 理 特 殊 問 題		4
	企 業 形 態 特 殊 問 題		4
	経 営 史		4
	管 理 会 計	4	
	会 計 組 織 論		4
	会 計 学 特 殊 問 題		4
	原 価 計 算 特 殊 問 題		4
	民 商 法 特 殊 問 題		4
	経 済 法 特 殊 問 題		4
	労 働 法 特 殊 問 題		4
	演 習	4	
	研 究 報 告	6	

富山大学学則の一部改正

富山大学学則の一部を改正する学則を次のように制定する。

昭和46年5月21日

富山大学長 後藤 秀弘

富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則(昭和25年1月20日制定)の一部を次のように改正する。

第13条第1項中「履修取得」を「修得」に改める。

第56条中「教育専攻科 教育専攻」を
「経済学専攻科 経理経営専攻」

「理学専攻科 理学専攻

教育専攻科 教育専攻」に改める。

「経済学専攻科 経理経営専攻」

第58条中「教育専攻科 教育専攻 5名」を
「経済学専攻科 経理経営専攻 10名」

「理学専攻科 理学専攻 10名

教育専攻科 教育専攻 5名」に改める。

「経済学専攻科 経理経営専攻 10名」

第61条中「履修取得」を「修得」に改める。

別表第1中、工学部電子工学科の講座または学科目欄中
「△応用電子工学」の次に「△電子素子工学」を加える。

別表第3中、工学部電子工学科の総定員欄中「120名」を
「160名」に、合計の総定員欄中「3,650名」を「3,690名」に改める。

附 則

この学則は、昭和46年5月21日から施行し、昭和46年4月1日から適用する。

富山大学文理学部規則の一部改正

富山大学文理学部規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和46年5月21日

富山大学長 後藤 秀弘

富山大学文理学部規則の一部を改正する規則

富山大学文理学部規則(昭和26年9月7日制定)の一部を次のように改正する。

第5条第2項中「別表」を「別表(1)」に改める。

第8条中「取得」を「修得」に改める。

第22条を次のように改める。

(理学専攻科)

第22条 専攻科に関しては、学則に定めるもののほか、この条項による。

2 専攻科学生は、別表(2)に定める授業科目について、必修科目20単位および選択科目10単位以上、合計30単位以上を修得しなければならない。

別表中「文学科」を

「別表(1)」

授業科目および単位数

文 学 科 」に、

同表中理学科の項、物理学専攻課程の自由選択科目の欄中「取得」を「修得」に改める。

別表(1)の次に次の表を加える。

別表(2)

理学専攻科授業科目および単位数

専攻課程名	授 業 科 目	単 位 数	
		必修	選択
理 学 課 程	代 数 学 特 別 講 義		4
	幾 何 学 特 別 講 義		4
	位 相 数 学 特 別 講 義		4
	解 析 学 特 別 講 義 I		4
	解 析 学 特 別 講 義 II		4
	数 理 統 計 学 特 別 講 義		4
	応 用 解 析 学 特 別 講 義		4
	計 算 数 学 特 別 講 義		4
	数 学 特 別 講 究	20	
	物 理 学 特 論 I		4
物 理 学 課 程	固 体 物 理 学 特 論 II		2
	素 粒 子 物 理 学 特 論 I		4
	素 粒 子 物 理 学 特 論 II		4
	結 晶 物 理 学 特 論		4
	量 子 エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス 特 論		4

理 学 専 攻 課 程	化 学 課 程	分子物理学特論 特別研究	20	4
		構造化学特別講義Ⅰ		2
		構造化学特別講義Ⅱ		2
		構造化学特別演習		2
		化学反応論特別講義Ⅰ		2
		化学反応論特別講義Ⅱ		2
		物理化学特別演習		2
		有機化学反応論特別講義		2
		有機化学構造論特別講義		2
		有機化学特別演習		2
	生 物 学 課 程	天然物化学特別講義Ⅰ		2
		天然物化学特別講義Ⅱ		2
		天然物化学特別演習 研究論文	20	2
		機能形態学		4
		環境生物学		4
		系統学特論		4
		動物生理学特論		4
		生物化学特論		2
		植物生理学特論		4
		代謝調節学		2
	専 攻 課 程	細胞生物学特論		4
		遺伝学特論		2
		発生生物学特論		4
		放射線生物学特論 研究実験および論文	20	2

附 則

この規則は、昭和46年5月21日から施行し、昭和46年4月1日から適用する。

富山大学教育学部規則の一部改正

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和46年5月21日

富山大学長 後藤 秀弘

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部規則(昭和27年4月18日制定)の一部を次のように改正する。

別表Ⅱ(イ)の表中

教育制度	教育行政	2		2		2	
	学校保健	2					

教育制度	教育行政	2		2		2	
	学校保健	2		2		2	

教育社会学	教育社会学	4		4		2	
	社会教育	2					
	図書館学	4					

教育社会学	教育社会学	4		4		2	
	社会教育	2					
	図書館学	4		4			

」に、

発達心理学	幼児心理学	4					
	児童心理学	4		4		2	
	青年心理学	4		4		2	

」を

発達心理学	幼児心理学	4		4			
	児童心理学	4		4		2	
	青年心理学	4		4		2	

」

に改める。

別表Ⅱ(ロ)の表中

保健体育 科教育	体育科教材研究ⅠⅡ	2	保健体育科 教育法	1
			保健体育科体 育教育法ⅠⅡ	2
			保健体育科保 健教育法ⅠⅡ	2

」を

保健体育 科教育	体育科教材 研究ⅠⅡ	2	保健体育科体 育教育法ⅠⅡ	2
			保健体育科保 健教育法ⅠⅡ	2

」に改める。

別表Ⅲ 体育・保健体育専攻を次のように改める。

(次のようは別紙)

別表Ⅲ 家庭専攻を次のように改める。

(次のようは別紙)

別表Ⅲ 技術専攻を次のように改める。

(次のようは別紙)

別表Ⅲ 英語専攻を次のように改める。

(次のようは別紙)

別表Ⅳを次のように改める。

(次のようは別紙)

附 則

この規則は、昭和46年5月21日から施行し、昭和46年4月1日から適用する。

別表III

体 育 ・ 保 健 体 育 専 攻

学 科 目	授 業 科 目		開 設 単 位	小学校教員養成課程		中学校教員養成課程			養護学校教員養成課程			
				必	選必	必	選必	選	第一類		第二類	
									選必	必	選必	
体 育 実 技 生 理 学 及 び 衛 生 学 学 校 保 健 体 育 理 論 ・ 体 育 史	体 育 原 理	体 育 概 論	2	2	2					2		
		体 育 原 理 演 習	1	1		1						
		体 育 史 概 論	2			2				2		
		体 育 心 理 学	2	2		2				2		
		体育心理学演習及び実験ⅠⅡ	2		3	2				2		
		体 育 社 会 学	2	2	2					2	2	
		体 育 社 会 学 演 習ⅠⅡ	2			2				2		
		身 体 運 動 学	2	2		2				2		
	体 育 管 理	身体運動学演習及び実験ⅠⅡ	2	1		2				2		
		体 育 管 理	2	2	2					2		
		体 育 管 理 演 習ⅠⅡ	2	2	2					2		
		運 動 概 論	2	2	2					2		
		舞 踊 概 論	2	2			2			2	2	
		コ ー チ ン グ 演 習ⅠⅡ	2	2		2				2		
		社 会 体 育	2			2				2		
		レ ク リ エ ー シ ョ ン 論	2				2			2	2	
	体 育 実 技	体 育 測 定	2			2						
		体 操	2	1	1	男 1	1			1		
		器 械 運 動	4	1	3	1	1	2		1		
		陸 上 競 技	4	1	1	1	1	2		1		
		ダ ン ス	4	1	男1女2	2	2	男2女1		女 1	女 1	
		柔 道	2			1	男 1	1		1	男 1	
		剣 道	2			1	1	1		1	1	
		サ ッ カ ー	2	1	男 1			1		男 1		
		バ レ ー ボ ー ル	2	1	2	1		1		1		
		バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	3	1		1		2		1		
		ハ ン ド ボ ー ル	3				1	2				
		テ ニ ス	2				1	1				
		ソ フ ト ボ ー ル	2				1	1				
		水 泳	4	1	1	1	1	2			1	
		登 山	2	1	1		1	2		1	1	
		ス キ ー	2	1	1		1	1		1	1	
	生 理 学	ピ ア ノ 奏 法	2					2				
		体 育 解 剖 学	2	2		2				2		
		体 育 解 剖 生 理 学 演 習	1		2		1					
		体 育 生 理 学	2	2	2	2				2		
		体 育 生 理 学 演 習	1	1			1			1		
		体 育 生 理 学 実 験	1	1			1			1		
		発 育 学	2					2				
		栄 養 学Ⅰ	2					2				
	衛 生 学	大 腦 生 理 学	2					2				
		衛 生 学	2	2		2						
公 衆 衛 生 学		2		2		2						
細 菌 及 び 免 疫 学		2		2			2					
救 急 処 置 及 び 看 護 法		2	2		2							
精 神 衛 生 学		2					2					
学 校 保 健 管 理		2	2		2				2			
健 康 教 育 概 論		2	2	2	2				2	2		
学 校 保 健	疾 病 の 予 防	2	2		2				2			
	特 別 演 習	2	2						1			
	保 健 体 育 特 別 講 義	12					12					
基 本 科 目	初 等 科 体 育Ⅰ	1						1				
	初 等 科 体 育Ⅱ	1						1				
特設科目												
計				2	14	25	11			13	9	
								6				
			120		16		42		2		22	

別表Ⅲ

家庭専攻

学 科 目	授 業 科 目		開 設 単 位	小学校教員養成課程		中学校教員養成課程			養護学校教員養成課程			
				必	選必	必	選必	選	第一類		第二類	
									選必	必	選必	
食 物 学 <												

別表Ⅲ

技 術 専 攻

学科目	授 業 科 目	開設 単位	中学校教員養成課程					養 護 学 校 教員養成課程	
			共通 必修	第一類 選 必	選	第二類 選 必	選	第 二 類 選 必	選 必
木 材 加 工	製 図	図 学	2	2				2	
	機 械 製 図	機 械 製 図	2	2				2	
	木 材 加 工 法	木 材 加 工 法	4		4	4			
	木 工 実 習	木 工 実 習	2	2				2	
	造 形 設 計 ・ 同 演 習	造 形 設 計 ・ 同 演 習	2		1	1	1	1	
	金 属 加 工 法	金 属 加 工 法	2	2				2	
	金 工 実 習	金 工 実 習	2	2				2	
	機 械 工 学 概 論	機 械 工 学 概 論	4	4				4	
	工 業 力 学	工 業 力 学	2			2	2		
	材 料 力 学	材 料 力 学	4			4	4		2
	機 構 学	機 構 学	2			2	2		
	熱 機 関	熱 機 関	2			2	2		
	精 密 測 定 ・ 精 密 機 械	精 密 測 定 ・ 精 密 機 械	2			2	2		
	機 械 設 計 法	機 械 設 計 法	4			4	4		
	機 械 工 作 法	機 械 工 作 法	2			2	2		2
	機 械 工 材 料	機 械 工 材 料	2			2	2		
	機 械 工 学 演 習	機 械 工 学 演 習	2			2	2		
	機 械 工 学 実 験 ・ 実 習	機 械 工 学 実 験 ・ 実 習	2	2				1	
	電 気 工 学 概 論	電 気 工 学 概 論	4	4				4	
電 気	電 気 磁 気 学	電 気 磁 気 学	4			4	4		
	電 気 回 路 学	電 気 回 路 学	2			2	2		
	電 子 工 学	電 子 工 学	4			4	4		2
	電 力 機 械	電 力 機 械	4			4	4		
	電 気 計 測 用 器	電 気 計 測 用 器	2			2	2		2
	電 力 応 用 器	電 力 応 用 器	2			2	2		
	電 子 機 械	電 子 機 械	2			2	2		
	電 気 工 学 演 習	電 気 工 学 演 習	2			2	2		
	電 気 工 学 実 習	電 気 工 学 実 習	2	2				1	
	電 気 工 学 実 験	電 気 工 学 実 験	2			2	2		
	作 物 学	作 物 学	4		4		4		2
	栽 培 学	栽 培 学	4	2	2		2	2	
	種 芸 学	種 芸 学	2		2		2		
	園 芸 学	園 芸 学	4	2	2		2		2
機 械	畜 産 学	畜 産 学	6		6		6		
	飼 料 学	飼 料 学	2		2		2		
	病 虫 害 防 除 論	病 虫 害 防 除 論	2		2		2		
	土 壌 肥 料 学	土 壌 肥 料 学	4		4		4		
	農 産 製 造 学	農 産 製 造 学	4		4		4		
	食 品 化 学	食 品 化 学	2		2		2		
	農 業 地 理 学	農 業 地 理 学	2		2		2		
	農 業 經 営 学	農 業 經 営 学	4		4		4		
	農 作 物 学 実 験 実 習	農 作 物 学 実 験 実 習	1	1					
	栽 培 学 実 験 実 習	栽 培 学 実 験 実 習	2	1	1		1	1	
農 業	畜 産 学 実 験 実 習	畜 産 学 実 験 実 習	2	1	1		1		
	農 業 実 習	農 業 実 習	2	1	1		1	1	
	農 業 機 械 実 習	農 業 機 械 実 習	1		1		1		
	農 業 化 学 実 験	農 業 化 学 実 験	1		1		1		
	産 業 概 説	産 業 概 説	2	2					2
	職 業 指 導 原 理	職 業 指 導 原 理	4	2		2	2		2
	職 業 指 導 の 技 術	職 業 指 導 の 技 術	4		4		4		
	技 術 史	技 術 史	2		2		2		
	水 産 学 概 論	水 産 学 概 論	2		2		2		
	商 業 概 論	商 業 概 論	2		2		2		
	統 計 学	統 計 学	3		3		3		
	微 分 積 分 学	微 分 積 分 学	4		4		4		
	微 分 方 程 式 論	微 分 方 程 式 論	2		2		2		
	一 般 物 理 学 I II	一 般 物 理 学 I II	4		4		4		
特 設 科 目	計 化 学 総 論 I II III	計 化 学 総 論 I II III	6		6		6		
	生 物 学 総 論 I II III	生 物 学 総 論 I II III	6		6		6		
	技 術 科 特 別 講 義	技 術 科 特 別 講 義	6		6		6		
	計	計		34	10		10	24	2
			172		6		6		
					50		50		26

別表Ⅲ

英 語 専 攻

学 科 目	授 業 科 目		開 設 単 位	中 学 校 教 員 養 成 課 程			養 護 学 校 教 員 養 成 課 程	
				必	選 必	選	第 二 種	
							必	選 必
英 語 学	英 語 学	言 語 学 概 論	2		2			
		英 語 音 声 学	4	4			2	2
		英 語 史	2		2			2
		英 文 法	4	4			2	2
		英 語 学 演 習	10	2	2	6		
		英 語 学 特 別 講 義	6			6		6
	英 文 学	英 文 学 史	4	4			2	2
		米 文 学 史	2		2			2
		英 米 文 学 講 読 I	5	8	8	4	4	16
		英 米 文 学 講 読 II	5					
		英 米 文 学 講 読 III	5					
		英 米 文 学 講 読 IV	5					
		英 米 文 学 演 習	5	2	2	1		
		英 米 文 学 特 別 講 義	6			6		6
	英 会 話 及 び 英 作 文	英 会 話 I	5	2	2	5	2	3
		英 会 話 II	4					
		英 作 文 I	5	2	2	5	2	3
		英 作 文 II	4					
	特 設 科 目							
				28	8			
						6	14	8
				83	42		22	

別表Ⅳ 特 殊 教 育 専 攻

学 科 目	授 業 科 目		開設 単位	第一類・第二類			異常児教育 実 習	精 薄 児 教 育 実 習	4	2			
				必	選 必								
異 常 児 心 理	異 常 児 教 育	特 殊 教 育 概 論	2	2	}	異 常 児 の 病 理		精 薄 児 教 育 課 程 論	2		2	}	
		精 薄 児 教 育 概 説	2	2					特 殊 教 育 演 習	1			1
		精 薄 児 の 指 導	2					2	臨 床 心 理 学	2			2
		特 殊 教 育 行 政	2					2	人 格 心 理 学	2			2
		異 常 児 の 心 理	2	2					幼 児 心 理 学	2			2
	異 常 児 心 理	精 薄 児 の 心 理	2	2				児 童 心 理 学	2		2		
		精 薄 児 の 心 理 演 習	2	1				精 神 病 理 学	2		2		
		精 薄 児 の 診 断 演 習	1		1			グ ル ー プ ダイ ナ ミ ッ ク ス	2		2		
		精 薄 児 の 心 理 学 実 験	1		1			学 校 保 健 管 理	2		2		
		精 薄 児 の 病 理 ・ 保 健	2	2				衛 生 学	2		2		
	異 常 児 の 病 理 ・ 保 健	小 児 精 神 医 学	2		2			救 急 処 置 及 び 看 護 法	2		2		
		精 神 衛 生	2	2				言 語 治 療	2		2		
		異 常 児 の 病 理 ・ 保 健 演 習	1		1			教 育 評 価	2		2		
		大 腦 生 理 学	2		2			特 設 科 目	2		2		
								計	54	15	11		
						26							

富山大学工学部規則の一部改正

富山大学工学部規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和46年 5 月21日

富山大学長 後藤 秀弘

富山大学工学部規則の一部を改正する規則

富山大学工学部規則（昭和25年12月15日制定）の一部を次のように改正する。

別表(1)中電気工学科の表を次のように改める。

（次のようは別紙）

附 則

- 1 この規則は、昭和46年10月1日から施行する。
- 2 昭和45年度以前の専門教育課程移行者は、なお従前の例による。

別表(1) 電 気 工 学 科

授 業 科 目	単 位 数
専 攻 科 目	
応 用 数 学 第 1	2
応 用 数 学 第 2	2
応 用 数 学 第 3	2
応 用 数 学 第 4	2
応 用 数 学 演 習	1
電気磁気学第1および演習	3
電気磁気学第2および演習	3
量 子 物 理 学	2
電 気 物 性 工 学	2
電気回路理論第1および演習	5
電気回路理論第2および演習	3
エ ネ ル ギ ー 論	2
情 報 理 論	2
電子回路学第1および演習	3
電 子 回 路 学 第 2	2
半 導 体 工 学	2
電 子 管 工 学	2
電 気 機 器 学 第 1	2
電 気 機 器 学 第 2	2
電 気 機 器 学 第 3	2
電 気 機 器 設 計 学	2
電 動 機 制 御 工 学	2
発 変 電 工 学	3
送 配 電 工 学 第 1	2
送 配 電 工 学 第 2	2
電 力 応 用 工 学 第 1	2
電 力 応 用 工 学 第 2	2
電 気 材 料 工 学	2

高 電 圧 工 学	2
原 子 力 工 学	2
伝 送 工 学	3
高 周 波 工 学	2
超 高 周 波 工 学	2
電 気 音 響 学	2
電 波 工 学	2
電 子 演 算 工 学 第 1	2
電 子 演 算 工 学 第 2	2
交 換 工 学	3
電 子 計 測 工 学 第 1	2
電 子 計 測 工 学 第 2	2
シ ス テ ム 工 学	2
制 御 工 学 第 1	2
制 御 工 学 第 2	2
法 規 お よ び 管 理	1
電 波 法 規	1
電 気 工 学 設 計 製 図	2
○電 気 工 学 実 験 第 1	2
○電 気 工 学 実 験 第 2	2
○電 気 工 学 実 験 第 3	2
○電 気 工 学 実 験 第 4	2
電 気 工 学 特 論	
電 気 工 学 輪 読	2
○卒 業 論 文	10
関 連 科 目	
工 業 化 学 概 論	3
金 属 工 学 概 論	3
機 械 工 学 概 論	3
工 業 電 気 化 学	4
応 用 物 理 学	2
工 業 英 語	2

- 備考 1. 電気工学特論の単位数は、必要に応じて定める。
2. ○印は、必修科目

富山大学工学部規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和46年 5 月21日

富山大学長 後藤 秀弘

富山大学工学部規則の一部を改正する規則

富山大学工学部規則（昭和25年12月15日制定）の一部を次のように改正する。

別表(1)の金属工学科の表の専攻科目中

「|○鉄冶金学実験| 2 |」を「|○鉄冶金学実験| 1 |」に改める。

同表の関連科目中

「| 酸・アルカリ・肥料 | 1 |」を削る。

附 則

この規則は、昭和46年5月21日から施行し、昭和46年4月1日から適用する。

富山大学教育学部附属学校規則の一部改正

富山大学教育学部附属学校規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和46年5月21日

富山大学長 後藤 秀弘

富山大学教育学部附属学校規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部附属学校規則(昭和41年1月17日制定)の一部を次のように改正する。

第8条の表中

中学校	普通学級	12	50名	200名	600名
	特殊学級	1	15名	15名	15名

を

中学校	普通学級	12	50名	200名	600名
	特殊学級	2	15名	15名	30名

に改める。

附 則

この規則は、昭和46年5月21日から施行し、昭和46年4月1日から適用する。

諸 会 議

第1回評議会 (4月1日)

(報告事項)

- (1) 教育学部長の再任について
- (2) 国大協関係について
- (3) 昭和46年度入学生に対する行事計画について
- (4) 入学式について
- (5) 人事異動について

(審議事項)

- (1) 昭和46年度富山大学入学者選抜試験合格者の判定について

第2回評議会 (4月16日)

(報告事項)

- (1) 持ち廻り評議会(教官人事)について
- (2) 土地購入の件について

- (3) 学生食堂建設について

- (4) 入学式について

- (5) 経済学部単位不認定等違法確認請求控訴事件について

(審議事項)

- (1) 次期学生部長候補者の選考について
- (2) 教官人事について
- (3) 富山大学名誉教授の称号授与について
- (4) 昭和46年度富山大学理学専攻科入学者選抜試験合格者の判定について
- (5) 経済学部規程の一部を改正する規則案の附則第2項ただし書について
- (6) 経済学部教官選考内規について

第3回評議会 (4月19日)

(審議事項)

- (1) 次期学生部長候補者の選考について
- (2) 昭和46年度富山大学工学部電子工学科の補欠者(未発表)の追加について

第4回評議会 (4月23日)

(報告事項)

- (1) 国大協の「大学問題に関する調査研究報告書(案)」に対する意見照会について
- (2) 富山大学経済学部教官選考内規について

(審議事項)

- (1) 次期学生部長候補者の選考について

第5回評議会 (5月21日)

(報告事項)

- (1) 「単位不認定等違法確認請求事件」について
- (2) 第16回東海北陸地区国立大学長会議について

(審議事項)

- (1) 富山大学学則の一部改正について
- (2) 富山大学文理学部規則の一部改正について
- (3) 富山大学教育学部規則の一部改正について
- (4) 富山大学教育学部附属学校規則の一部改正について
- (5) 富山大学工学部規則の一部改正について
- (6) 富山大学評議会・協議会規則検討小委員会の報告について
- (7) 名誉教授の称号授与について
- (8) 国大協の「大学問題に関する調査研究報告書(案)」に対する意見について
- (9) 昭和46年4月経済学部経済科卒業の認定について

昭和46年度富山大学認定講習委員会 (5月27日)

(議 題)

- (1) 昭和46年度免許法認定講習の指導について
- (2) 昭和46年度免許法認定講習(夏季全日制)実施計画および講師の推薦について

人 事 異 動

現 官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日	発 令 者
	松 田 秀 雄	助教授(工学部)に採用する。	46.4.1	文 部 大 臣
	武 田 庄三郎	〃 (教養部) 〃	〃	〃
	世 利 幹 雄	〃 (〃) 〃	〃	〃
	小 川 洋 通	講師(教育学部) 〃	〃	富山大学長
	龍 山 智 榮	〃 (工学部) 〃	〃	〃
	小 林 武 彦	〃 (教養部) 〃	〃	〃
	小 坂 光 一	〃 (〃) 〃	〃	〃
	中 越 矩 方	〃 (〃) 〃	〃	〃
	松 嶋 道 夫	〃 (経営短期大学部)に採用する。	〃	富山大学経営短期大学部学長
	菊 川 貞 己	助手(〃) 〃	〃	〃
	荒 木 榮	教諭(教育学部附属中学校)に採用する。	〃	富山大学長
	稲 垣 不二男	〃	〃	〃
	杉 本 みち代	〃	〃	〃
	林 静 生	〃	〃	〃
	中 谷 隆 一	教諭(教育学部附属小学校)に採用する。	〃	〃
	上 山 勉	文部技官(薬学部)に採用する。	〃	〃
	藤 澤 壽美子	〃	〃	〃
	袋 谷 賢 吉	〃 (工学部) 〃	〃	〃
	茅 野 光 朗	技術員(〃) 〃	〃	〃
	館 喜美子	〃 (〃) 〃	〃	〃
	堀 和 實	事務員(教養部) 〃	〃	〃
	井 口 右 子	教務補佐員(薬学部) 〃	〃	〃
	中 谷 隆 雄	〃 (工学部) 〃	〃	〃
	鍋 谷 彰 子	事務補佐員(薬学部) 〃	〃	〃
	河 上 祥 子	〃 (工学部) 〃	〃	〃
	島 田 千 春	〃 (〃) 〃	〃	〃
	辻 澤 良 夫	〃 (附属図書館)に採用する。	〃	〃
	岩 瀬 チイコ	技能補佐員(庶務部庶務課電話交換手) 〃	〃	〃
	中 田 登志夫	〃 (工学部) 〃	〃	〃
助 教 授 (金沢大学理学部)	松 本 賢 一	教授(文理学部)に昇任させる。	〃	文 部 大 臣
(〃 法文学部)	吉 田 清	〃	〃	〃
(教 育 学 部)	山 淵 利 文	教授(教育学部)に昇任させる。	〃	〃

助 教 授 (教 育 学 部)	増 田 欣	教授(教育学部)に昇任させる	46.4.1	文 部 大 臣
(教 養 部)	大 谷 重 彦	〃 (教養部) 〃	〃	〃
(〃)	藤 井 昭 二	〃 (〃) 〃	〃	〃
助 手 (福 井 大 学 工 学 部)	元 治 信 雄	助教授(教育学部) 〃	〃	〃
講 師 (経 営 短 期 大 学 部)	珠 玖 拓 治	福島大学助教授(経済学部)に昇任させる	〃	〃
文 部 技 官 (工 学 部)	穴 田 博	助手(工学部)に昇任させる	〃	富山大学長
(〃)	高 橋 義 夫	〃 (〃) 〃	〃	〃
課 長 (庶 務 部 庶 務 課)	河 野 喬	名古屋工業大学学生部次長に昇任させる	〃	文 部 大 臣
(新潟大学医学部附属病院管理課)	里 見 弘	学生部次長に昇任させる	〃	〃
文 部 事 務 官 (社会教育局婦人教育課)	福 山 敬 治	学生課長 〃	〃	〃
(〃)	草 島 幸 雄	附属図書館総務係長 〃	〃	富山大学長
助 教 授 (大 阪 教 育 大 学)	大 牟 田 章	助教授(文理学部)に配置換する	〃	文 部 大 臣
(教 養 部)	上 野 英 雄	金沢大学助教授(教養部) 〃	〃	〃
(教 育 学 部)	加 藤 龍 夫	横浜国立大学助教授(工学部) 〃	〃	〃
次 長 (学 生 部)	友 部 浩	東京教育大学学生部次長 〃	〃	〃
課 長 (庶 務 部 人 事 課)	木 村 寿 作	滋賀大学庶務課長 〃	〃	〃
(経 理 部 経 理 課)	石 井 完	岐阜大学経理部主計課長 〃	〃	〃
(学 生 部 学 生 課)	住 友 衛	高知大学学生課長 〃	〃	〃
(九州芸術工科大学庶務課)	伊 部 一 俊	庶務部庶務課長 〃	〃	〃
(宇 都 宮 大 学 厚 生 課)	井 上 英 世	〃 人事課長 〃	〃	〃
(福井工業高等専門学校会計課)	野 村 学	経理部経理課長 〃	〃	〃
課 長 補 佐 (経 理 部 主 計 課)	奥 井 三 郎	経済学部事務長 〃	〃	〃
事 務 長 (経 済 学 部)	酒 井 弘	薬学部事務長 〃	〃	〃
文 部 事 務 官 (附属図書館閲覧係長)	斉 藤 隆	附属図書館受入係長 〃	〃	富山大学長
(〃 受入係長)	村 田 修 身	〃 整理係長 〃	〃	〃
(〃 薬学専門図書室係長)	本 田 善 彦	〃 閲覧係長 〃	〃	〃
(〃 整理係長)	多 賀 政 信	〃 薬学専門図書室係長 〃	〃	〃
(経 理 部 経 理 課)	荒 屋 克 子	文理学部に配置換する	〃	〃
(経 済 学 部)	中 田 ふじえ	〃	〃	〃
(〃)	近 岡 忠 夫	教育学部に配置換する	〃	〃
(学 生 部 学 生 課)	麻 生 友 治	経済学部 〃	〃	〃
(文 理 学 部)	武 久美子	附属図書館 〃	〃	〃
(教 育 学 部)	野 口 隆	庶務部人事課 〃	〃	〃
文 部 事 務 官 (附属図書館作業員)	辻 澤 弥八郎	教養部作業員 〃	〃	〃
用 務 員 (学生部学生課作業員)	高 島 仙 次	附属図書館作業員 〃	〃	〃
文 部 事 務 官 (富山工業高等専門学校庶務係長)	平 岡 幸 一	学生部学生課学生会館係長に転任させる	〃	〃

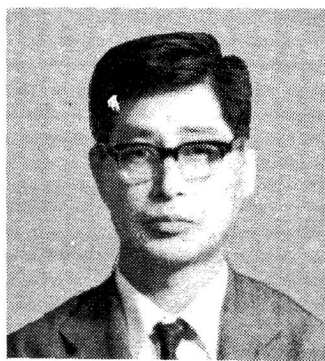
文 部 事 務 官 (教 育 学 部)	本 沢 健 二	富山工業高等専門学校に出向させる	46.4.1	富山大学長
" (学生部学生課学生会館係長)	若 林 良 吉	文部事務官(学生課)に降任させる	"	"
" (庶 務 部 人 事 課)	草 島 幸 雄	人事係給与主任を免ずる	"	"
" (教 育 学 部)	本 沢 健 二	学務係学生主任 "	"	"
" (庶 務 部 人 事 課)	野 口 隆	人事係給与主任を命ずる	"	"
" (経 理 部 主 計 課)	山 本 道 弘	司計係予算主任 "	"	"
事 務 員 (庶 務 部 庶 務 課)	五百崎 喜 明	文部事務官に任官させる	"	"
" (薬 学 部)	藤 野 広 春	"	"	"
" (附 属 図 書 館)	山 田 正 芳	"	"	"
技 術 員 (施 設 課)	吉 野 義 光	文部技官 "	"	"
" (工 学 部)	柴 田 利 治	" "	"	"
技 能 員 (教育学部附属学校自動車運転手)	田 嶋 毅	" "	"	"
" (厚 生 課 炊 婦)	松 下 て る	" "	"	"
" (教育学部附属学校炊婦)	神 戸 寿々代	" "	"	"
事 務 補 佐 員 (文 理 学 部)	田 島 洋 子	辞職を承認する	46.4.3	"
助 教 授 (教 育 学 部)	神 保 放 牛	教授(教育学部)に昇任させる	46.4.6	文 部 大 臣
	藤 本 明	事務補佐員(薬学部)に採用する	46.4.7	富山大学長
事 務 補 佐 員 (教 養 部)	早 瀬 富美子	辞職を承認する	46.4.10	"
臨 時 用 務 員 (教育学部作業員)	田 盛 一 枝	昭和46年4月10日限り退職した	46.4.11	"
" (教 養 部 作 業 員)	今 村 ます子	"	"	"
	今 津 藤 一	教授(教育学部)に採用する	46.4.16	文 部 大 臣
	小 松 美英子	文部技官(文理学部) "	"	富山大学長
講 師 (薬 学 部)	竹 口 紀 晃	助教授(薬学部)に昇任させる	"	文 部 大 臣
事 務 補 佐 員 (教 養 部)	河 西 美知子	辞職を承認する	46.4.21	富山大学長
教 授 (")	柿 岡 時 正	富山大学評議員に併任する (任期46.4.25~48.4.24)	46.4.25	文 部 大 臣
" (")	二 神 弘	" (")	"	"
	濱 野 松 男	事務補佐員(学生部学生課)に採用する	46.4.26	富山大学長
	中 山 由 紀	" (教養部) "	46.4.27	"
	植 木 信 子	" (文理学部) "	46.4.28	"
	吉 田 紀 子	" (薬学部) "	46.5.1	"
	中 井 歌 子	臨時用務員(学生部厚生課作業員) "	"	"
助 教 授 (文 理 学 部)	平 田 純	教授(文理学部)に昇任させる	"	文 部 大 臣
" (工 学 部)	山 田 正 夫	" (工学部) "	"	"
助 手 (")	品 川 不二雄	講師(") "	"	富山大学長
助 教 授 (薬 学 部)	野 村 昇	助教授(教育学部)に配置換する	"	文 部 大 臣
事 務 補 佐 員 (文 理 学 部)	二 宮 英 治	技能員(工学部化学技工) "	"	富山大学長

技 能 員 (薬学部 汽 かん 士)	砂子田 仙 吉	施設課 汽 かん 士 に併任する (任期46.11.19まで)	46.5.1	富山大学長
教 育 学 授 (教 育 学 部)	酒 井 康 彦	富山大学学生部長に併任する。富山大学評 議員に併任する。(任期46.5.9~48.5.8)	46.5.9	文 部 大 臣
	笹 木 平	事務補佐員(文理学部)に採用する	46.5.10	富山大学長
	岡 部 俊 夫	助手(文理学部)に採用する	46.5.16	〃
	赤 田 静 子	事務補佐員(庶務部庶務課)に採用する	46.5.18	〃
事 務 補 佐 員 (庶 務 部 庶 務 課)	坂 井 洋 子	辞職を承認する	〃	〃
教 育 学 授 (薬 学 部)	渡 辺 和 夫	タイ国公衆衛生省医学局(バンコック)に派 遣する(派遣期間46.5.30~46.12.2)	46.5.30	文 部 大 臣
文 部 学 技 官 (薬 学 部)	中 山 幸 子	辞職を承認する	46.5.31	富山大学長

学 内 諸 報

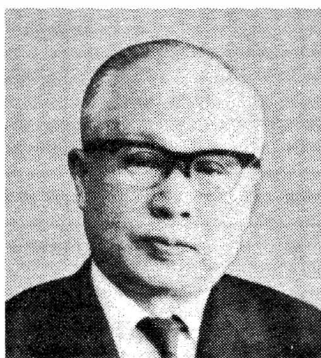
名誉教授の称号授与について

昭和46年3月停年退職された前文理学部教授守屋獅郎氏、前薬学部教授三橋監物氏、前薬学部教授倉田軍一氏、前工学部教授長元亀久男氏、前教養部教授渡辺義一氏の5氏に対し、昭和46年4月16日付けで、また昭和43年3月停年により退職された元教育学部教授溝上茂夫氏に対し、昭和46年5月21日付けで富山大学名誉教授の称号が贈られた。



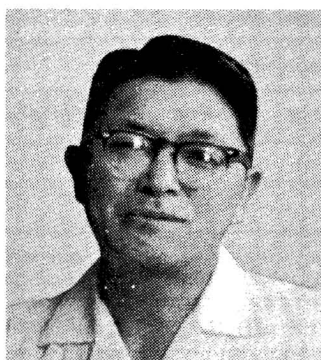
名誉教授
守 屋 獅 郎
東京外国語学校本科
英語科卒業

山形県立長井中学校教諭、富山県立神通中学校教諭を経て、昭和10年7月富山高等学校教諭、同16年4月同校教授同25年3月富山大学助教授、同32年8月同教授となり昭和46年3月停年により退職されるまで包括学校在職を含め本学に35年9ヵ月間在職された。この間英語学を担当し、学生教育および英語学研究に、また著書および学術論文も数多く発表、特に三省堂、研究社など発行の英和辞典の編纂について執筆、校閲に尽力され、さらに学会においては、多年、日本英文学会中部地方支部富山県理事をつとめ、富山県英語教育連絡協議会講師として地域社会の英語教育に多大の貢献をされた。



名誉教授
三 橋 監 物
東京帝国大学医学部
薬学科卒業

昭和11年富山薬学専門学校教授、同25年4月富山大学薬学部教授となり本年3月停年退職されるまでの35年の間、学内にあっては薬学部長、評議員として特に大学紛争の際は学長事務代理として職務を全うされるなど本学の管理運営に尽力された。日本薬学会副会頭、評議員、理事を歴任しその功績により昭和46年度日本薬学会教育功労賞を受賞された。



名誉教授
倉 田 軍 一
東京帝国大学医学部
薬学科卒業

昭和9年5月富山薬学専門学校教授、同26年3月富山大学薬学部助教授、同36年3月同教授を歴任、37年の間衛生化学を担当、終始学生教育、指導に尽くすかわら昭和36年6月から同40年5月まで評議員として本学の管理運営に、また学界においては、日本薬学会評議員、同北陸支部幹事として多くの業績を残された。



名誉教授

長 元 亀久男

金沢高等工業学校
機械工学科卒業

多賀高等工業学校、高岡工業専門学校教授を歴任し、昭和25年4月から富山大学工学部教授として20有余年勤務し教育、研究の他に昭和39年4月から同44年5月まで評議員として本学の管理運営に貢献されるとともに学外においては日本繊維機械学会北陸支部長、精機学会北陸支部長、日本機械学会北陸信越支部長等として学術振興に寄与し昭和45年4月日本機械学会の名誉員に推せんされた。

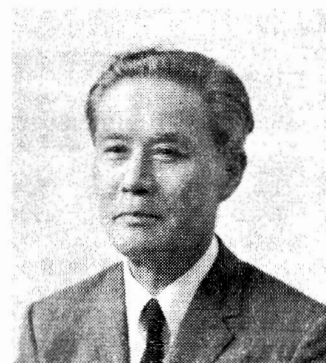


名誉教授

渡 辺 義 一

東北帝国大学理学部
卒業

昭和6年5月富山師範学校教諭、同9年3月富山高等学校教授、同24年6月富山大学助教授、同33年2月同教授となり40年間にわたり教育、研究に従事、またこの間教養部長、評議員、補導協議会委員、教養部運営協議会委員などの要職を併任され、本学の管理運営に幾多の業績を残された。



名誉教授

溝 上 茂 夫

広島高等師範学校
徳育専攻科卒業

昭和24年3月富山師範学校教授として着任。

山口師範学校教諭、長岡女子師範学校教諭、北海道庁学務課嘱託、室蘭高等家政女学校長、三重師範学校教授を経て昭和24年3月富山師範学校教授として着任、同年6月よ

り兼ねて富山大学教授、同25年4月富山大学教授となり、昭和43年3月退職されるまでの19年余の間、終始熱心に学生を指導し教育され、また、教育学部長、評議員、附属学校長等を歴任し本学の管理運営に貢献された。

一方、ヨーロッパ古典教育学の研究を続け、いわゆる“久遠の教育学”の伝統をきわめるとともに、青年時代から思慕してきたペスタロッチの教育精神と“北国の使徒”といわれているキリシタン大名高山右近の殉教的精神の顕揚につとめられた。

職員の派遣について

薬学部和漢薬研究施設生物試験部門渡辺和夫教授は、タイ国の要請により派遣職員として海外技術協力事業団(OTCA)を経て次のとおり派遣された。

派遣先 タイ国公衆衛生省医学局

派遣目的 タイ薬品研究所プロジェクトによる専門家として生薬の指導にあたるため。

派遣期間 昭和46年5月30～同46年12月2日

学 位 取 得 者

取得者 教養部 教授 二神 弘

取得学位 理学博士(東京大学)

取得年月日 昭和46年4月12日

学位論文 アメリカ合衆国における都市化現象の特性と都市化地域における黒人の空間構成の研究

叙 位 ・ 叙 勲

工学部教授 故近藤正男

正六位に叙す

昭和46年3月8日 内閣

教育学部教授 故神保放牛

正四位に叙し勲三等瑞宝章を授ける

昭和46年4月6日 内閣

富山大学名誉教授 植木忠夫氏に叙勲

昭和40年3月停年退職された本学名誉教授植木忠夫氏は、昭和46年度春の叙勲者として5月12日国立劇場にて勲3等旭日中綬章が伝達された。

北陸地区大学奨学生事務協議会

日本育英会主催北陸地区大学奨学生事務協議会は、本学の当番により北陸に所在する国立、公立、私立の大学および短大の13大学より50数名が参加して5月7日本部、経済学部の両会議室で開催された。

この会は、毎年地区毎に行なわれ福井、金沢、富山の3大学が交替に当番しているもので、会議内容は日本育英会から関係係官が出席し各大学の奨学事務の関係職員に育英会の趣旨および改正点などの説明と実際の事務について質疑応答を行なっているものである。

訃 報

教育学部神保放牛教授は、療養中のところ肺癌のため、昭和46年4月6日富山市民病院で逝去された。

ここに、謹んで、哀悼の意を表します。

同氏は、昭和11年3月富山県立氷見中学校教諭心得として奉職以来、富山県立富山高等女学校、富山師範学校を経て富山大学に勤務される間、実に35年有余に及び、教育者として終始懇篤なる温情をもち、孜孜として教員養成に努め、幾多の英才を育成された。

また、国語学および国語科教育の進展に多大の功績を残し、豊かな成果を挙げられ、昭和46年4月6日付で正四位に叙せられ、勲三等瑞寶章を授与された。

同氏の略歴は次のとおり。

昭和11年 3 月	京都帝国大学文学部卒業
〃 〃	富山県立氷見中学校教諭心得
〃 5 月	同校 教諭
15年 8 月	富山県立富山高等女学校教諭兼 富山県女子師範学校教諭
19年 3 月	富山師範学校助教授
20年 5 月	同校 教授
26年 3 月	富山大学教育学部助教授
46年 4 月	同 教授

国語学専攻。富山県滑川市出身。享年58才。

職 員 消 息

〈新 任 者〉

庶務部庶務課

課 長 伊部 一俊

事務補佐員 赤田 静子

技能補佐員 岩瀬チイコ

庶務部人事課

課 長 井上 英世

経理部経理課

課 長 野村 学

学生部次長 里見 弘

学生部学生課

課 長 福山 敬治

事務補佐員 濱野 松男

学生部厚生課

臨時用務員 中井 歌子

文理学部

教 授 松本 賢一

〃 吉田 清

助 教 授 大牟田 章

助 手 岡部 俊夫

文 部 技 官 小松美英子

事務補佐員 植木 信子

〃 笹木 平

教育学部

教 授 今津 藤一

助 教 授 元治 信雄

講 師 小川 洋通

教 諭 荒木 栞

〃 稲垣不二男

〃 杉本みち代

〃 林 静生

〃 中谷 隆一

薬学部

文 部 技 官 上山 勉

〃 藤澤壽美子

事務補佐員 鍋谷 彰子

〃 藤本 明

〃 吉田 紀子

教務補佐員 井口 右子

工学部

助 教 授 松田 秀雄

講 師 龍山 智榮

文 部 技 官 袋谷 賢吉

技 術 員 茅野 光朗

〃 館 喜美子

事務補佐員 河上 祥子

〃 島田 千春

教務補佐員 中谷 隆雄

技能補佐員 中田登志夫

教養部

助 教 授 武田庄三郎

〃 世利 幹雄

講 師 小林 武彦
" 小坂 光一

" 中越 矩方
事 務 員 堀 和実
事務補佐員 中山 由紀

附属図書館

事務補佐員 辻澤 良夫
経営短期大学部
講 師 松嶋 道夫

助 手 菊川 貞己

<改 姓>

庶務部庶務課

事務補佐員 坂井 洋子（旧姓・林）

経理部主計課

事務補佐員 五十嵐仁子（旧姓・高尾）

薬学部

助 手 木村 郁子（旧姓・室）
文 部 技 官 中山 幸子（旧姓・堀）

教養部

事務補佐員 永原 紀子（旧姓・山崎）

<住所変更>

経理部主計課

事務補佐員 五十嵐仁子

文理学部

教 授 小林 貞作

講 師 鈴木 正昭
文部事務官 五十嵐靖夫

教育学部

教 諭 久米 敏雄

薬学部

助 手 後藤 義明
" 木村 郁子
文 部 技 官 浅水 哲也

事務補佐員 津野 康子

工学部

教 授 白鳥 一
助 手 伊藤 紀男
文部事務官 真田 剛

教養部

教 授 横山 文雄

助 教 授 世利 幹雄

事務補佐員 永原 紀子

附属図書館

事務補佐員 吉田 順子

経営短期大学部

講 師 松嶋 道夫

助 手 菊川 貞己

主 要 日 誌

本 部

- 4 月 1 日 第 1 回評議会
2 日 昭和46年度入学者合格発表
6～9 日 入学手続
7 日 北陸地区大学奨学生事務協議会
9 日 部局長会議
理学専攻科入学者選抜試験
10～11 日 北信越学生弓道大会（於富山大学）
12 日 昭和46年度入学式（於黒田講堂）
13～15 日 新入学生オリエンテーション
15 日 昭和46年度富山大学大学院入学式
第 1 回補導協議会
16 日 第 2 回評議会
19 日 施設整備委員会
第 3 回評議会
富山大学大学改革準備委員会
22 日 第 2 回補導協議会。富山大学公務員宿舍委員会
23 日 理学専攻科入学式
第 4 回評議会
富山大学評議会・協議会規則検討小委員会
第39回東海北陸地区国立学校等会計部課長会議
（於金沢大学）
26 日 富山大学大学改革準備委員会
27 日 第 3 回補導協議会（持廻り）
5 月 2～3 日 春季北信越学生卓球選手権大会（於富山大学）

- 10日 第1回富山大学大学改革準備委員会第1専門委員会
- 11日 第3回東海北陸地区国立大学事務局長会議（於名古屋大学）
- 12～13日 第16回東海北陸地区国立大学長会議（於名古屋大学）
- 13日 X線間接撮影
- 14～15日 第40回東海北陸地区国立大学学生部課長会議（於三重大学）
- 17日 第2回富山大学大学改革準備委員会第1専門委員会
富山大学名誉教授称号記授与式
- 20日 第4回補導協議会
- 21日 第5回評議会
昭和46年度国立大学事務局長会議（於国立教育会館）
中部地区学生補導厚生研究会第15回総会（於名古屋大学）
- 22日 昭和46年度富山大学科学教育研究室入室式
- 24日 第3回富山大学大学改革準備委員会第1専門委員会
- 25日 昭和47年度大学入学者選抜実施要項説明会（於名古屋大学）
- 27日 昭和46年度第1回富山大学認定講習委員会
- 27～28日 国立学校および所轄機関等庶務部課長会議（於一橋講堂）
- 27～6月3日 大学祭
- 31日 第14回全国国立大学学生部次長協議会（於埼玉大学）
- 31～6月1日 昭和46年度国立学校会計部課長会議（於東京農林年金会館）

文 理 学 部

- 4月1日 教授会
人事教授会
- 3日 理学専攻科入学願書受付締切
- 8日 理学専攻科入学志願者調査書審査
- 9日 理学専攻科入学者選抜学力試験
- 12日 理学科45年度後学期残り授業開始
- 14日 教授会
人事教授会
学部オリエンテーション
健康診断
- 17日 理学専攻科入学合格者発表
- 19日 文学科前学期授業開始
- 21日 文学科教官会議

- 23日 理学専攻科入学式
- 26日 理学科（3年次）前学期授業開始
選考委員会（結晶物理学）
- 28日 教授会
人事教授会
職業補導委員会
学部図書委員会
- 5月11日 X線間接撮影
- 12日 教授会
人事教授会
- 15日 理学科（旧3年次）45年度後期残り授業終了
- 20～21日 第1回13大学人文系学部長会議（於山口大学）
- 26日 文学科教官会議
文学科懇話会
学部レクリエーション委員会委員と真率会役員の合同委員会

教 育 学 部

- 4月1日 教務・補導合同委員会
教授会
- 5日 前期授業開始
附属小学校始業式
附属中学校始業式
- 6日 人事教授会
附属小学校入学式
附属中学校入学式
- 7日 補導委員会
教務委員会
教授会
附属幼稚園始業式
- 9日～10日 日教協、北陸地区第二部会家庭科研究協議会
（於新潟大学長岡分校）
- 10日 附属幼稚園入園式
- 13日 補導委員会
人事教授会
- 14日 学部オリエンテーション
教育実習打合せ会
- 20日 予算委員会
- 21日 新入学生健康診断
教授会
教務委員会
- 22日 職業補導委員会
- 26日 補導委員会
- 28日 教務委員会
- 5月7～8日 日教協、第一部会（於熱海、富士屋ホテル）

- 10日 教育実習委員会
特別教職課程委員会
- 11～12日 日教協、北陸地区評議員会（於金沢大学）
- 12日 学生健康診断（X線間接撮影）
附属小学校春の遠足
- 13日 補導委員会
富山市中学校春季総合体育大会
- 14日 職業補導委員会
- 17～18日 北陸地区教員養成学部事務長協議会（於新潟大
学長岡分校）
- 18日 附属学校運営委員会
- 19日 教務委員会
教授会
附属中学校教育実習（27日まで）
- 20日 予算委員会
- 21日 緊急教授会
- 26日 教務・補導合同委員会
補導委員会
教授会
- 26～28日 X線間接撮影（附小，中，幼）

経 済 学 部

- 4月1日 第1回教授会（臨時）
第1回教務委員会
- 6日 第2回教務委員会
- 7日 第2回教授会
- 8日 第3回教務委員会
- 14日 第3回教授会（臨時）
第4回教務委員会
学部オリエンテーション
健康診断
- 15日 学部学生相談オリエンテーション
- 21日 第4回教授会
第5回教務委員会
- 28日 第5回教授会（臨時）
第6回教務委員会
- 30日 第1回人事教授会
第7回教務委員会
- 5月6日 第8回教務委員会
- 12日 第6回教授会（臨時）
第2回人事教授会
- 13日 X線間接撮影
- 14日 第9回教務委員会
- 17日 第1回学部職業補導委員会
- 19日 第7回教授会

第10回教務委員会

- 20日 第2回学部職業補導委員会
- 21日 第3回人事教授会
- 22日 第11回教務委員会

薬 学 部

- 4月1日 教授会
- 7～9日 日本薬学会第91年会（於福岡大学）
- 13日 教務委員会
共同利用研究施設装置管理運営委員会
- 14日 教授会
人事教授会
学部オリエンテーション
- 15日 学部前期授業開始
- 16日 大学院薬学研究科オリエンテーション
- 19日 大学院前期授業開始
- 20日 教授会
- 21日 特別講演会（日本薬剤師会会長）
- 23日 教務委員会
- 26日 学部図書委員会
- 28日 教授会
人事教授会
薬学研究科委員会
- 5月6日 教務委員会
- 7日 教授会
人事教授会
薬学研究科委員会
- 12日 人事教授会
- 13～15日 全国、国・公・私立薬学（部・科）長会議（於
京都大学）
- 14日 X線間接撮影
- 17日 学部図書委員会
教務委員会
- 19日 教授会
- 26日 教授会
人事教授会
薬学研究科委員会

工 学 部

- 4月1日 一般教授会
専任教授会
- 10日 一般教授会
工学部将来計画委員会
- 13日 一般教授会

工学部将来計画委員会

14日 専任教授会

17日 一般教授会

26日 工学研究科委員会

28日 X線間接撮影

5月7日 工学研究科委員会

専任教授会

15日 一般教授会

26日 工学研究科委員会

27日 学部建築委員会

教 養 部

4月1日 教務委員会

12日 教授会

13日 新入学生オリエンテーション

14日 教授のみの教授会

昭和45年度後学期残り授業開始

19～24日 昭和45年度後学期期末試験

26日 前学期授業開始

27日 教授のみの教授会（持廻り）

5月12日 教授会

19日 教授のみの教授会

教授会

24日 教授会

25日 全国国立大学教養学部事務協議会（於新潟大学）

26～27日 全国国立大学教養学部長会議（於新潟大学）

附属図書館

4月13日 時間外開館開始

16日 附属図書館オリエンテーション

26日 事務打合せ会

27日 事務打合せ会

5月6～7日 第21回北信地区国立大学図書館協議会（於
富山県民会館）

13日 X線間接撮影

事務打合せ会

経営短期大学部

4月12日 昭和46年度入学式（於黒田講堂）

新入学生オリエンテーション

新入学生歓迎会

13日 授業開始

15日 教授会

5月6日 授業料減免選考委員会

13日 教授会

21日 定期健康診断

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190印刷所 株式会社 巧 舎
富山市新桜町2-22
電話☎1977(代)